

主要施策の事務事業改革案

昨年七月からスタートした事務事業の見直しも新年を迎え、大詰めの時期に入ってきました。最終的な行財政改革推進プラン策定にはまた暫くの時間を必要としますが、今月号では、これまでに改革案として提案した主要施策の事務事業を町行財政改革推進委員会の審議状況を伝えながらお知らせします。

第5回推進委員会開催

十一月二十七日（土）役場で第五回笠松町行財政改革推進委員会が開催されました。委員会は今回から会議時間を半日から一日に拡大し、町の主要施策である各柱の事務事業について審議が行われました。

この日、町からは一般職職員の定員管理や職員手当の削減による人件費削減案を始め、笠松町にとってのアイデンティティーともいえる、乳幼児・児童・生徒医療費助成事業における対象年齢を見直し、入院15歳、通院10歳までとする改革案のほか、南事務所を廃止するなどの公共施設再編案などを提出しました。

これらの改革案に対し、乳幼児・児童・生徒医療費助成事業では、「入院、通院とも年齢ではなく小学校あるいは中学校卒業までという節目までの助成が望ましいのではないか」といった意見や「行革」というこの時期に他市町村の状況なども踏まえ、町の財政の現状、時節に対応し

た基本を作るべきだ」などといった意見がありました。

町では、医療費助成事業を子育て支援策全体の中で捉え、小学校五年生児童全員に児童生活習慣病検査を実施する予防施策や子育てと就労の両立といった働く親などの支援などの充実を行って行きたい旨説明しました。

また、今年度、施設の老朽化により休止した町民プールについては、施設の年間維持費として八百万円、修繕した場合には二千五百万円ほどの経費が掛かる半面、年間入場料は七十五万円と費用対効果が今後も低下することが推察でき、この際、施設を取り壊し、水遊び場の要素を持った公園の一部として整備したいという提案に対しては、「利用者がこれだけ少ないのであれば廃止したほうが良い」と、今の施設では時代遅れで無理に残す必要はないのではないか」といった意見が聞かれました。今回までに提案した改革案は一覧表のとおりです。

事務事業名	改革案
将来ビジョンと特化する施策	<p>「安全で 安心して 暮らしていけるまち」</p> <p>少子化対策事業（子育て支援施策） 仕事と子育ての両立にかかる負担感や子育ての負担感を緩和するために、保育施策の充実や子どもの疾病の発生子防の充実に努めます。 乳幼児・児童・生徒医療費助成事業 放課後児童クラブの実施 コミュニティママ子育てサポート事業 他</p>
	<p>高齢者対策事業（高齢者を活かしたまちづくり施策） 高齢者のみなさんが今まで培ってきた知識・経験や更なる学習により得た知識を地域で発揮し、高齢者みんなで地域を活性化して行くシステムを構築します。 シニアサークルの育成 シニアグループ活動支援事業 街かどデイハウス事業の導入 他</p>
	<p>歴史文化教育事業（生涯・学校・家庭教育施策） 地域のさまざまな人びとがこれまでの経験や学習から得た知識や技術を共に活かしながら、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人びとがふれあう交流活動（ボランティア活動や体験活動）や学習活動（地域課題学習、生活課題学習など）を通じ、家庭と地域の教育環境の活性化を目指します。 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 学習情報提供相談システムの構築 歴史文化ふるさとサポート事業の実施 他</p>
	<p>防災防犯対策事業（社会的弱者対策、情報提供施策） 地域住民自ら、地域の状況や特性を把握し、災害・犯罪発生時には、迅速な社会的弱者への支援活動ができるとともに、スピーディーかつ正確な情報提供ができる環境を目指します。 家具転倒防止補助器具取付事業 コミュニティ安心マップ作成事業 緊急時情報伝達システムの導入 他</p>
	<p>環境対策事業（廃棄物減量化・資源化・リサイクル化施策） 循環型社会の形成に向けて、ごみ処理の基本理念について、これまでの「リサイクル型」から、ごみの発生抑制（リデュース:Reduce）再使用 リユース:Reuse）再資源化（リサイクル:Recycle）の総合的な取組みを推進する「循環型：3R」に発展させます。 循環型社会の啓発・教育の推進 住民協働による循環型システムの構築 事業系ごみ対策の強化 他</p>

組織・人事制度改革	<p>一般職職員の定員管理 平成16年度から平成22年度までに30人の職員を削減 167人 137人（平成16年度7人削減）</p> <p>一般職職員の人件費削減 平成17年度から19年度の3カ年で74,582千円の削減 【定員管理による分】 57,292千円 【職員手当削減による分】 17,290千円 管理職手当 20%削減 時間外勤務手当 20%削減 期末勤労手当 役職加算 50%削減</p> <p>グループ制の導入など 職員一人当たりの事務量を平準化し、事務処理の迅速化や組織のスリム化を図る。 ・現行 4部10課7出先機関（等） 5部12課</p> <p>人事管理制度の拡充 ・相互評価システムの確立（上司から部下の評価＋部下から上司の評価） ・希望人事制度の導入（希望昇格、希望降格） ・目標管理（自己評価）シートの導入</p>
補助金等	<p>公益性のある事業に補助することを再確認するため見直しを行う。 ・公的団体補助金（町内会連合会、社会福祉協議会、商工会など） 算定基準を策定し、補助金額を決定する。 ・私的団体補助金 【運営補助金】 財政健全化期間の平成19年度を目途にすべて廃止する。 【事業補助金】 平成17年度より補助金交付要綱を制定し、事業提案型助成制度を導入する。なお、平成22年度までは財政状況を考慮した予算枠を設定し、第三者審議機関により交付決定する。</p>
公共施設の再編	<p>本庁舎への組織の集約 南事務所を分庁舎機能を廃止し、税務課及び建設課を役場内に配置する。ただし、企業会計部門の水道課については、北事務所を分庁舎とし同2階に配置。</p> <p>コミュニティー消防センター 災害時備品貯蔵庫としても利用 2階を貸出施設（有償）とする。ただし、町内会などのコミュニティー団体は除く。</p> <p>町民プール 施設を廃止し取り壊し、水遊び場の要素を持たせた公園の一部などとして整備する。</p> <p>厚生会館・下羽栗会館・松枝公民館・スポーツ交流館 無人化に移行</p> <p>福祉会館 休館日の設定 など</p>
公有用地・公共用地	<p>売却 南事務所敷地及び遊休地などの売却</p> <p>貸付 職員駐車場に駐車する職員に有償で貸付</p>
窓口業務	<p>総合窓口フロアの設置 役場1階をワンストップサービス環境に整備</p>
ふるさと振興事業	<p>使用目的の検討 ふるさと振興基金の使用目的を検討する「懇話会」の設置</p>
町民バス・公共施設巡回バス運行事業	<p>有償運行の実施 運行協力募金からワンコイン化（100円）。ただし、未就学児については無料。</p> <p>日、祝日の運行本数の削減 1時間に1運行 2時間に1運行</p> <p>車いすリフト付低床バスの導入 平成17年度1台 平成18年度1台</p>
国民健康保険税見直しによる同特別会計繰出金	<p>賦課割合の平準化 平成16年度 応能・応益割合 60：40 平成17年度 55：45 応能：所得割・資産税割 応益：均等割・平等割</p> <p>一般会計からの財政支援的な繰出をなくす 段階的に9,000万円を0円とする。</p>
乳幼児・児童・生徒医療費助成事業	<p>少子化対策全般の充実 対象年齢の見直し 入院外来15歳 入院15歳 外来10歳 <平成17年度以降の子育て支援施策（案）> 児童生活習慣病予防事業 放課後児童クラブの実施 延長保育の充実 子育てサロンの充実 病後児保育所の開設 子育てサポート事業の実施</p>
小規模授産所の運営	<p>民営化への移行 平成17年度から事業の運営を社会福祉協議会に移行。</p> <p>運営の見直し 保護者がボランティア活動として作業補助を実施するなど運営の見直しを行う。</p>
保育所保育料	<p>保育料階層区分の見直し 現行の5階層から国の基準の7階層に見直し、保育料を段階的に国の基準額の80%まで引き上げる。</p>
町立保育所・笠松保育園通園バス運行事業	<p>通園バス利用料の徴収 無料 3,000円/月</p>
成人健康診査事業（がん検診・各種健診）	<p>自己負担金の段階的引上げ（現行の自己負担額を下回る場合は現行の金額） 平成17年度 69歳以下 委託単価の10% 70歳以上 無料 平成18年度 “ ” 15% “ ” 委託単価の5% 平成19年度 “ ” 20% “ ” “ ” 5%</p>
児童生活習慣病予防事業	<p>実施方法の見直し 町内の医療機関において個別受診から小学校での集団受診とし、自己負担額を2,900円から無料とする。また、検査内容を見直すとともに、事後指導を充実させる</p>
街路灯設置基準	<p>設置基準の見直し 現行40mから80mに変更する。ただし、通学路・交差点・家屋が連なる地域は現行のとおりとし、新設については、町内会要望に限り対応する。その場合、維持管理費は要望町内負担とし、設置費の1/2（限度額18,900円）について助成金を交付する。</p>
私立幼稚園就園奨励費補助金	<p>補助金の見直し ・平成18年度より補助金単価を段階的に30%削減 （平成17年度 現行どおり・平成18年度 15%・平成19年度 30%） ・平成17年度より補助対象者の見直し（満3歳児補助対象外）</p>